

令和5年度（令和4年度対象）

沼田町教育委員会の活動状況に関する  
点検・評価報告書

沼田町教育委員会

## 点検・評価の概要

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされております。

当委員会では、この点検及び評価を行うに当たり過日、教育に関し学識経験を有する方々の知見を戴き、法の趣旨である効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会活動の点検・評価を実施し報告書にまとめました。

### 2 評価等の対象

今回実施した評価等の対象は、沼田町総合教育計画に基づき、令和4年度に実施した教育行政に関する施策のうち主な事業としました。

### 3 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、施策事業の実施内容と実績を明らかにするとともに、今後の課題と対応方向を示します。

### 4 評価基準

計画に対し、取り組みの進捗状況などを踏まえ、A～Dの4段階評価を行っています。

#### (評価判断基準)

- A・・・計画どおり又は計画以上の成果が得られた
- B・・・概ね目標は達成できた
- C・・・課題を残し目標も十分達成できなかった
- D・・・検討段階で具体的な成果はなかった

## 令和4年度 教育委員会の活動状況に関する点検・評価 対象事業一覧

## 第1期 沼田町総合教育計画

基本理念 『沼田町ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現』

基本 目標 Ⅰ  未来を築く人づくり	<b>個別目標1 『知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成』</b>	
	<b>展開方策1</b>	<b>生きる力を支える「確かな学力」の習得</b>
	関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 2. 教育総合アドバイザーの配置 3. 小学校補助教諭の配置 4. 小中学校学力向上対策事業 5. 公設塾「みらい」 6. 学習サポート事業 7. 小矢部市青少年交流事業 19. ポートハーティ国際交流推進事業
	<b>展開方策2</b>	<b>子どもたちの「豊かな心」の育成</b>
	関係事業	7. 小矢部市青少年交流事業 8. スクールカウンセラーの配置 9. 仲間づくり「子ども会議」 18. ポートハーティ国際交流推進事業 19. 子ども文化劇場 20. 中学生ボランティア育成事業
	<b>展開方策3</b>	<b>子どもたちの「健やかな体」の育成</b>
	関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 9. 小学校体力向上対策事業 39. 町民体育祭 42. おはようラジオ体操 43. 明日萌・ほたるの里ウォーキング 49. B&G海洋センター管理運営 50. 水泳教室 51. スキー場管理運営
	<b>展開方策4</b>	<b>地域に貢献する人づくりの促進</b>
	関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 16. 農業体験事業 18. キャリア教育の推進
	<b>展開方策5</b>	<b>個人のニーズに対応した教育の充実</b>
関係事業	12. 小中特別支援学級支援事業	
<b>展開方策6</b>	<b>幼児教育の充実</b>	
関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業	
<b>個別目標2 『地域社会が一体となり、共に育む教育の実践』</b>		
<b>展開方策7</b>	<b>学校・家庭・地域で子どもたちを育む取り組みの支援</b>	
関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 7. 小矢部市青少年交流事業 18. キャリア教育の推進	
<b>展開方策8</b>	<b>家庭における教育の支援</b>	
関係事業	1. 一貫・連携教育推進事業 23. 家庭教育支援事業	

### 個別目標3 『安全・安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備』

#### 展開方策9 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進

関係事業 8. スクールカウンセラーの配置 11. メール斉送信システムの運用 13. 通学路点検・防犯教室の開催 39. 沼田っ子サポーター事業

#### 展開方策10 社会の変化に対応した学校づくりの推進

関係事業 1. 一貫・連携教育推進事業 14. 小中校務支援システムの導入 17. 教員住宅管理事業

#### 展開方策11 高度情報化社会に対応した教育・学習活動の推進

関係事業 1. 一貫・連携教育推進事業 23. 家庭教育支援事業

#### 展開方策12 質の高い教育環境の整備

関係事業 15. 外国語指導助手委託事業

### 個別目標4 『沼田らしい学ぶ喜びに溢れる生涯学習社会の実現』

#### 展開方策13 生涯を通して学習し、その成果を生かせる環境づくりの推進

関係事業 24. 町民交流フェスタ 25. 生きがい講座 26. 成人式 27. サークル活性化支援事業 28. いきいき大学  
29. 外国文化にふれる会 33. 芸術文化鑑賞事業 40. 社会教育施設の管理運営 47. 図書館運営 48. 図書館フェスティバル  
55. 宿泊交流センター管理運営 58. 町民会館の管理運営

#### 展開方策14 青少年が健やかに育つ地域づくりの推進

関係事業 30. シニアリーダー研修会 31. 自然体験キャンプ 32. 沼田っ子の夢応援事業 39. ぬまたっ子サポーター事業

#### 展開方策15 高齢者の生きがいづくりの推進

関係事業 28. いきいき大学 38. 文化連盟活動助成

#### 展開方策16 生涯にわたり、スポーツに親しむことの出来る環境づくりの推進

関係事業 41. 町民体育祭 42. おはようラジオ体操 43. 明日萌・ほたるの里ウォーキング 44. 町民パークゴルフ場運営 45. 各種パークゴルフ大会  
46. 体育協会活動助成 49. B&G海洋センター管理運営 50. 水泳教室 51. スキー場管理運営 56. 町民球場運営  
57. 社会体育施設の管理運営

#### 展開方策17 芸術文化や地域の歴史に親しむ機会の充実

関係事業 7. 小矢部市青少年交流事業 25. 生きがい講座 33. 芸術文化鑑賞事業 34. 文化財の保存管理 35. クラウス整備点検  
36. 本願寺駅通維持管理 37. 町民芸術祭 38. 文化連盟活動助成 52. 化石事業の推進 53. 化石体験館管理運営  
54. レプリカ工房 58. 町民会館の管理運営

#### 展開方策18 広い視野を持ち、地域を愛する心の育成

関係事業 7. 小矢部市青少年交流事業 19. ポートハブ国際交流事業 20. シン再開の塔

# 事業別 教育行政評価書

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	1	一貫・連携教育推進事業	担当係	学務	
事業内容	沼田町一貫・連携教育の目標「ふるさと沼田を愛し、自ら進んでたくましく郷土の発展に寄与する子」を育むため、平成30年開園した小・中一貫型小学校・中学校「沼田学園」は、5年目を迎えた。小・中一貫教育の核となる義務教育9年間を見通した目標の設定とその目標の実現のために、指導性の一貫性を確保する。そのことを柱に据え、課題を明らかにすること、目指す子ども像や具体的な目標、評価項目・指標を設定し、地域・家庭・学校が一体となって取り組む。その実現のため教育振興会が中心となって研究を深め、学校運営協議会（令和元年設立）が中核となって社会総掛かりでの教育を進める。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	0
評価	A	新型コロナウイルス感染症によって教育活動が制約を受けながらもICTを活用するなど「子どもたちの学びを止めない」取り組みを進めた。教育振興会の研修では、「自ら学んで考え、学び合う児童・生徒の育成」～ICTの効果的活用を通して～2年次研究の初年度とした。授業スタイル「沼田スタイル」の実践と一人1台のiPadなどICT機器を教育活動に取り入れた主体的・対話的で深い学びの実践、定着に向けて一人一授業の実践や公開研究会を通して教職員の意識改革、資質向上が図られつつある。また、学年ごとに分散開催した「沼田学園運動会」や「夜高あんどん祭り」では、児童・生徒の交流や人との関わりの中で自己有用感を育むことに成果をあげている。9年間を見通した学習規律、中学校教諭の小学校への乗り入れ授業、小6の中学校登校などの取り組みも継続し、成果をあげている。先進地に学ぶ教育視察研修は、秋田県の東成瀬村、横手市を3名が訪問し、秋田県の進んだ教育実践を目の当たりにし、沼田学園の教育に活かすことが期待される。経営方針に反映されたられた「沼田っ子アクションプラン」は、評価および改善、課題の解決を目指し、未来を担う子どもたちの豊かな成長を目指している。			
今後の課題・見直しの予定	令和5年度から「教育振興会」を「沼田学園協議会」へと改編するなど業務、研修体制等の見直し、改善を進める。また、全国学力学習状況調査、NRT、QU、NINO等の結果、分析をもとに、児童生徒理解、支援、授業改善を学園全体で共有して学校力向上に向けた取り組みを図る。				
事業名	2	教育総合アドバイザーの配置	担当係	学務	
事業内容	多様化・高度化する学校教育・社会教育の質的向上を目指して、識見と豊富な経験を持った「教育総合アドバイザー」を1名配置し、子どもたちの学力や地域教育力の向上、各種教育相談、沼田町学習サポート事業「明日萌」に取り組む。 不登校児童・生徒の対応についても学校と保護者の意見を聞き、「ゆきの芽」で対応を行う。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				3,780	3,946
評価	A	教育者としての豊富な経験を活かしながら、一貫連携教育の推進や学力向上、生活習慣の改善対策に大きな力を発揮してくれている。不登校児童・生徒の対応についても、学校と保護者の意見を聞きながら「ゆきの芽」での対応を実施し、保護者、学校からの信頼も厚い。			
今後の課題・見直しの予定	教育分野の識見と豊富な経験を持つ人材は貴重であり、教育に関わる各種事業を円滑に進める上で有効であることから、継続することが必要である。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	3	小学校学力向上補助教諭の配置	担当係	学務	
事業内容	子どもたちが主体的に学ぶ意欲を高め、基礎・基本の学力の確実な定着と応用力の育成へと繋げていくことが必要であり、特に低学年においては以降の学年での学習への影響が大きいことから、当該学年への学習支援（授業サポート・放課後学習指導など）を進める。			事業費(決算額)	
				令和3年度	令和4年度
				0	0
評価	B	人材確保が難しいことから、採用要件について小学校の免許に加え中学校の免許でも可として、ハローワーク、広報で周知募集を行ったが、応募がありませんでした。			
今後の課題・見直しの予定	学習規律並びに基礎・基本の定着のために引き続き細かな配慮が必要であることから継続配置の予算措置をしていくが、教職員不足の背景から引き続き中学校免許保有者等範囲を広げて募集を行い、令和5年度からは、図工の専科指導に入ってもらい、その他教科での担任の学習指導を手厚く行っている。				
事業名	4	小・中学校学力向上対策事業	担当係	学務	
事業内容	急激に変化する時代の中で、子どもたちがふるさとに愛着と誇りをもち、将来に向かって夢や希望を描くためには、知・徳・体のバランスのとれた健やかな育成が必要である。とりわけ沼田町の子どもたちにおいては、一貫・連携教育の狙いである「確かな学力の向上」が求められている。 対策としては、全国学力・学習状況調査結果から、基礎基本的な漢字の読み書き、計算の習得及びこれから国際社会を生き抜くため英語力が必須であることから、漢字検定・算数・数学検定、英語検定を活用して沼田っ子の学力向上を図っていく。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				265	457
評価	A	漢字検定は、小学校93名受験し、83名合格、中学生33名受験し、18名合格となった。英語検定は、23名受験し、17名合格。3級合格者は5名でした。今年度から取り組む算数・数学検定は、小学生54名受験し、43名合格、中学生24名受験し、19名合格となった。合格という目標が学力向上への意欲付けとなった。受験会場が町外の場合、教委職員が受験する生徒の送迎に対しての支援も継続して必要と考えます。			
今後の課題・見直しの予定	漢検、英検、算数・数学検定ともに、検定料を助成すること、町外受験への送迎対応により、受験しやすい環境を整備できている。今後は、学力向上対策として位置付けている各検定の受検率を上げていくことが望まれる。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	5	公設塾「みらい」	担当係	社会教育	
事業内容	町内での安定した学習機会の確保による学力向上（学習機会の均等）とそれによる教育的観点での町の魅力創出を図る。 平日期間と長期休業中に小学5年生～中学3年生を対象として、放課後、ゆめつくる1階こども館にて実施。講師は大手学習塾での指導経験を持つ教育委員会事務局の地域おこし協力隊員が対応。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				-	-
評価	A	事前に保護者アンケート、開催にあたって事前説明会を実施するなど、保護者や児童生徒の意向を踏まえて計画実施した。			
今後の課題・見直しの予定	町内から塾がなくなり、地理的・経済的格差を解消するために塾開設の希望があったが、一方で高校が定員割れしている状況から学習に対する動機付けが困難になっており、学習意欲の向上が求められる。				
事業名	6	沼田町学習サポート事業「明日萌」	担当係	学務	
事業内容	児童・生徒の一層の学力向上を目指し、長期休業中及び平日（主に月曜日、放課後）に実施する。指導者は、教育総合アドバイザーと生涯学習支援員の2名体制で実施。学生ボランティアの活用、小学校での、図書館司書と連携した読み聞かせ、ALTの協力を得た「英語で遊ぼう」を学期に1回程度実施する。 小学校では、学校からの課題や漢検対策プリント、算数プリント（北海道チャレンジテスト等）を活用する。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				122	221
評価	A	平日35回、長期休業12回を実施した。小学生は、平日731名、長期休業171名と大幅増となった。中学生の対応は、冬期から公設塾へ移行することにより長期休業期間の自主学習する場としてこども館を開放する形式をとった。基礎的な事項の習熟をねらいとしたプリントや各種検定、チャレンジテストの活用を通して一定の効果が見られた。意欲的に学習に取り組む児童・生徒が多く、躓いている児童・生徒への支援も有効である。また、学生サポーターの配置により児童の意欲、感心の向上に大いに寄与し、有効であった。			
今後の課題・見直しの予定	中学生の対応は、公設塾に移行する。小学生は、特に基礎基本の習得、反復学習を重視する。また、各種検定への対策を取り入れ、児童の学習意欲の向上を目指す取り組みを工夫する。今後も実施日を学校と調整し、年間行事予定に位置付ける。				



## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	7	小矢部市沼田町青少年交流事業	担当係	学務	
事業内容	姉妹都市提携を結ぶ沼田町と富山県小矢部市の中学生同士が交流し両市町の絆を深め、まちづくり、人づくりにつなげる。また、交流事業を通して未来を担う子どもたちが、お互いの歴史や文化に触れることにより今後の両市町の振興発展に繋げることを目的として実施する。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年とは違った形での派遣とはなりましたが、小矢部市大谷中学校に沼田中学校生徒6名を派遣し、大谷中学校生徒の家庭にホームステイし交流した。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				207	1,178
評価	A	本年は受入の年であり、「夜高あんどん祭り」への参加を中心に、自然体験メニューなどを行い、近隣の旭山動物園見学など様々な催しの中で交流を進めた。本事業は、両市町の若者が将来わたる交流を進めていくための礎を築く有効な事業と考える。前回訪問時から受入を条件とはしないこととしたが、今回は対象全家庭で受入ていただくことができ、家族ぐるみでの交流を図っていただくことが出来た。振興協会のいきいきふるさと推進事業交付金(500千円)を交付され、財源を捻出することができた。			
今後の課題・見直しの予定	令和5年度は派遣の年であり、沼田中学校2年生の生徒9名(1名はコロナ感染により欠席)が蟹谷中学校への訪問や火牛祭りの参加など行いました。訪問中はホームステイを行うなど交流を深めてきました。 受入をする中学生があんどん祭りに参加するため、交流にかけられる時間に制限があり、ロータリークラブと相談を行いました。あんどん祭りへの参加への希望が強いため、引き続きあんどん祭りの時期で受入の調整を行いたい。日程の延長なども含め交流が深まるよう検討が必要と考えます。				
事業名	8	スクールカウンセラーの配置	担当係	学務	
事業内容	児童・生徒のいじめや不登校、暴力行為など多様化する問題行動等に適切に対応していくために、「心の専門家」として児童・生徒や保護者へのカウンセリング活動、教員への助言や個別事例の対応等、教育相談の充実を図る。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				374	376
評価	A	子どもたちや保護者から様々な悩み事や教育相談があり、また、教師からの相談などにも対応するなどそのニーズは極めて高く、心のケアの充実に大きく寄与している。特に不登校に対する児童や保護者へのケア対策にも力を入れて実施しており、小学校へは町費で年間12回、中学校は道費により年間22回の配置を行った。			
今後の課題・見直しの予定	多様化する子どもたちや保護者の諸問題等ニーズの高まりに対応するため、継続的に配置することが必要である。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	9	仲間づくり「子ども会議」(児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業)	担当係	学務	
事業内容	沼田の子どもたちが、いじめのない明るい学校づくりに向けた取り組みについて交流し、自らいじめの問題について考えることを通して、よりよい人間関係を築く基礎となる社会性や実践力を培う。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
評価	A	令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催となり各学校においていじめ(ネットトラブルを含む)の防止に向けて取り組んだ内容等について、各管内において成果交流を実施することにより、管内及び学校等における取り組みの成果や課題を検証するとともに、他校での実践等の発表を視聴しました。中学校の生徒3名が参加しました。			
今後の課題・見直しの予定	今後も継続して、いじめのない明るい学校づくりのため児童会・生徒会を中心に「いじめ」について考えていきたい。				
事業名	10	小学校体力向上対策事業	担当係	学務	
事業内容	平成25年度より、小学生に対してはコーディネーショントレーニングをスポーツクラブに委託し、専門家が小学校に常駐して体育の授業に参画するなど指導を行うようにする。外部からの参画があることにより、担任1人で行う授業よりもより充実した学びの機会を児童に与えることができ、体力向上に資することができる。また、体力向上には反復が必要であることから、小学校においても専門家の指導を基に恒常的に児童の体力向上対策を実施する			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
評価	A	子どもの体力向上についてはすぐに効果をだすことは難しいが、まずは幼少期よりコーディネーショントレーニングを行うことにより「運動ができる」土台づくりを行い、急速に体が成長する小学校期においてはより高度な神経系を刺激する動きを取り入れることにより、運動が「得意」で「好き」な子どもを育てることができる。			
今後の課題・見直しの予定	コーディネーショントレーニングは、専門的な知識や技術を有した指導により、全国体力テストの上位にランクすることはもちろん、低学年の時から肥満や、運動嫌い、体育の授業嫌いの解消のため実施する。体育専科の加配が令和3年度で解消され、回数の増について要望していきたい。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	11	メール斉送信システムの運用	担当係	学務	
事業内容	全国的に学校への不審者侵入や子どもの連れ去りなど、子どもたちが巻き込まれる事件が発生している。学校では安全対策を講じているが、「子どもたちが安心して生活できる環境」の確保のために近隣市町における不審者情報を迅速に保護者へ伝えるため、本システムを運用し児童・生徒の安全確保に努める。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				110	110
評価	A	このシステムは電話連絡網とは異なり、確実に同じ情報を短時間に登録者全員の携帯電話等に対し、一斉に配信することが出来るため、情報の行き違いがなく、子どもたちの安全を迅速に確保、或いは確認することができる有効な手段である。			
今後の課題・見直しの予定	小・中のすべての家庭で登録されている状況。今後も継続して登録できるよう新1年生の登録、卒業生の解除の徹底。旅行的行事の状況等について、メールで周知することにより、保護者が状況を把握することができる。				
事業名	12	小・中特別支援学級支援及び小学校学習支援員の配置	担当係	学務	
事業内容	特別支援教育を必要とする児童・生徒に加え、普通学級に在籍する支援を必要とする児童・生徒の自立等に向け、その一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活又は学習上の困難を改善・克服するために適切な教育と指導を通じて必要な支援を行うため支援員を配置する。また、通常の学級において、学習面で支援が必要な児童が急増していることから、学習支援員を配置し、勉強についていけない児童をサポートし、学習支援が必要な児童への支援を進める。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				8,817	9,508
評価	A	担当教員の取り組みにより支援員を活用し充実した教育が行われており、設備や教育器具の充実とともに、児童の健やかな成長に繋がっている。			
今後の課題・見直しの予定	今後とも、特別支援教育を必要とする児童・生徒の自立や生活、学習上の困難を改善・克服のため、必要に応じた支援員の配置が必要である。近年特別支援学級に在籍する児童・生徒が増加し、対応についても多様化するため更なる支援の増加も見込まれる。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	13	通学路点検・防犯教室の開催	担当係	学務	
事業内容	毎年、道路管理者、警察、住民生活課、教育委員会等関係者で構成する「沼田町通学路安全推進会議」による通学路点検を実施しており、結果に基づき縁石の取り替えや歩道の拡幅・改修、標識及び横断歩道の整備等が進められている。また、関係機関の協力のもと学校で防犯教室等を開催しており、防犯に対する意識の高揚を図っている。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				63	32
評価	A	通学路点検に関しては関係機関と連携して実施した。ゆめっくる前から農協スタンド交差点までと、中学校前までをスクールゾーンに設定し、のぼり旗を設置し通行車両への注意喚起を呼びかけている。			
今後の課題・見直しの予定	今年度も各関係機関の協力を仰ぎ、町内を4グループに分けて通学路点検を行うこととした。今後も継続して実施していく。				
事業名	14	小・中校務支援システムの導入	担当係	学務	
事業内容	小・中教職員の校務に係る事務負担の軽減を図り、空いた時間を児童・生徒と直接触れ合う時間として確保し、一人一人にきめ細やかな対応をすることで、児童・生徒に対する教育効果の向上に繋げる。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				845	845
評価	B	設定の手間と煩雑な操作性等から教職員間において十分に活用がされていないが、操作性等を改修した新システムへ移行するために教職員へのデモと研修を行った。 小・中一貫・連携をスムーズに運営するためにも、小・中学校それぞれの教諭が児童・生徒・教師のスケジュール等の情報を共有できるシステムの構築を一部実施したが、セキュリティの観点から使用上不都合な点もあり、今後の対応を検討する必要がある。			
今後の課題・見直しの予定	28年度から操作性等の良い新システムを導入するとともに、システムを十分に活用できるよう研修機会を設けることで、子どもと向き合う時間が増えるよう支援を進めている。セキュリティ確保のためネットワークの分離を実施したことにより、使用できないメニューが出てきているため、改善が必要。事業者と現場の先生も含め使用方法等について検討を行う。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	15 外国語指導助手委託事業	担当係	学務	
事業内容	外国語指導助手（ALT）を小・中学校へ派遣し、英語の授業等において担当教諭を補助し、子どもたちの学力の向上を図る。		事業費(決算額) (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			5,016	5,610
評価	A	言語や文化に対する体験的理解を深め、コミュニケーション能力の育成や英語の基本的な発音表現に慣れ親しませながら教育を進めることができ有効な事業である。 小・中学校においてのデイビット先生のTTの英語授業は、児童生徒・教師より十二分な評価を得ている。		
今後の課題・見直しの予定	小学校外国語教科等の学習指導要領の改正もあり、ますますALTは重要な役割を果たすこととなるため継続が必要である。 また、引き続き沼田町専属のALTで、町内に居住してもらい地域に根付く社会教育事業への協力も仰ぎ活動にも参加を頂いている。			
事業名	16 農業体験学習	担当係	学務	
事業内容	小学校5年生を対象に田植えから稲刈りまでの農業体験を行い、収穫したお米を使ったイベント炊飯を実施する。実施にあたっては、中山間地域推進協議会の事業として位置づけていただき、JA北いぶき及び、町農業推進課とも連携し実施する。		事業費(決算額) (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			-	-
評価	A	児童が町の基幹産業である農業を体験したことは、町の産業や食について学ぶ貴重な機会であり、ふるさと教育や食育としても有効な事業である。令和4年度は5年生の田植え体験、ダム見学や、稲刈り体験、脱穀・もみすり体験を実施することができた。		
今後の課題・見直しの予定	天候に左右される事業であるが、沼田町の基幹産業である農作業(田植え、稲刈り等)を体験し、自分の町で何が作られているのを知りたい機会であり、児童にとっても貴重な学習であるため、今後も継続させることが必要と考えます。			

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	17 教職員住宅管理事業	担当係	学務	
事業内容	町内居住を希望する教員のために住宅を確保し、また、適切な維持管理に努める。	事業費(決算額) (単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	
		8,559	14,473	
評価	A	現在、7棟11戸の住宅に10名が入居しており、近隣町から見ても住んでくれる教職員は多い方です。教職員の異動のタイミングを見ながら内装等についても修繕等を行い、沼田町に住んでもらえる環境作りを行っていく。教職員の引越しのタイミングが短く、内装や水回りを改修する期間が限られているが、入居している教職員の協力を頂きながら改修を行っていきたい。また、令和4年度は1件の水回りを中心とした内装の改修工事を実施した。また、灯油タンクの設置工事と屋根及び外壁工事を実施した。		
今後の課題・見直しの予定	比較的新しい住宅も築20年以上経過していることから、外壁張替えや屋根塗装が必要となっている。今後、どのように対応していくのか検討することに併せて、教職員の現状やニーズにあった「沼田町に住んでもらえる」住宅の建設についても計画していく必要がある。			
事業名	18 キャリア教育の推進(しごと・未来応援プロジェクト)	担当係	学務	
事業内容	「沼田町しごと・未来応援プロジェクト」の一つとして、町内の事業所の協力をいただき、中学2年生が職場体験を実施し、沼田町の企業の仕事を理解して将来の定住に結びつけるとともに、それぞれが将来を見据え、生きる力の醸成につなげる。	事業費(決算額) (単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	
		-	-	
評価	A	令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、限られた時間の中での職場体験となりましたが、町内事業所の協力を得て実施することができ、仕事について理解を深めました。		
今後の課題・見直しの予定	中学2年生の職場体験は、継続して実施する。今後は職場体験できる事業所を増やし、いろいろな経験ができるように実施していきたい。			

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	19	ポートハーディ国際交流推進事業	担当係	学務	
事業内容	本町と友好都市であるカナダ・ブリティッシュコロンビア州ポートハーディ地区との中学生同士（同年代）の交流を図る。交流にあたっては学校の授業や行事への参加やホームステイなどを通じて外国の生活文化に触れ、国際的な感覚を身に付ける。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	0
評価	—	令和4年度は派遣・受入を行うことで取り進めていましたが、新型コロナウイルスの影響により事業を中止いたしました。令和元年より派遣・受入事業が実施できていなかったため、両市町の首長によるオンラインでの交流会を実施し、次年度以降継続して実施していくことを確認しました。			
今後の課題・見直しの予定	令和5年度は7月12日から中学生4名・高校生7名の11名を派遣することができました、平成30年以來の訪問となりましたが、現地でのホームステイなどを行い交流を深められることができました。来年は受入の年となりますが、交流協会と協力しながら沼田町全体で迎え入れができるよう進めていきたい。				
事業名	20	シン・再会の塔	担当係	社会教育	
事業内容	町内で開催される中学校卒業後20年・30年・40年目の再会の塔（沼田中学校同窓会）に要する経費の一部について補助し、仲間との交流を深める後押しをする。 (10名以上の出席で5名以上の居住地が町外の場合) 10名以上の参加 50千円 20名以上の参加 100千円			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				-	50
評価	B	コロナ禍で対象3学年の内、実施は1学年のみであったが、10年に一度の節目の年に本町に戻って来られる機会は重要であるとする。			
今後の課題・見直しの予定	校舎が移転した後も、再会の塔にタイムカプセルを格納するイベントは継続されており、再会の塔は安心センターがある「あるくらす」地域のシンボリック的存在でもあるため、再会の塔事業・シン・再会の塔事業は継続したい。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	21	子ども文化劇場	担当係	社会教育	
事業内容	本物の芸術文化に触れる機会の少ない子どもたちに対し、直接接する機会を提供することにより、情操豊かな人間性を養うことを目的に隔年により実施している。令和3年度コロナの感染拡大により急遽延期となったため令和4年度に開催した。学校の希望により小学校全学年を対象に「銀河鉄道の夜」の演劇を観覧。			事業費(決算額) (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	300
評価	A	芸術文化鑑賞事業、学校教育振興授業事業とローテーションで回しており、効果的な演目を選定していく。			
今後の課題・見直しの予定	本事業は隔年実施としており、北海道巡回小劇場等の助成事業は終了したが、本物の芸術文化に接する機会は子どもたちだけではなく町民も同様に数少ないことから、継続実施したい。また、キャリア教育の一環として公演だけでなく、舞台裏の見学や公演団体との交流も検討したい。実施時期は早期に調整を行い、繁忙期と重ならない日程とする。				
事業名	22	中学生ボランティア育成事業	担当係	社会教育	
事業内容	町内在住の中学生・高校生を地域リーダーとして活動いただき、将来の町づくりリーダーとしての資質向上を図り、自分達の生まれ育った町でボランティア活動を行うことにより郷土愛を育み、地域に社会貢献できるよう育成する。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	0
評価	B	中学生のボランティア活動は学校と連携した活動を行っている。少年期に体験した知識を生かした活動も取り入れ、効果の高い事業でもある。令和4年度は、ゆめっくる前の花の植栽を生徒会の協力により実施した。水泳教室、自然体験事業、沼田っ子の夢応援事業など各種社会教育事業の児童参加者との関係性を深め、中学生につなげていく。			
今後の課題・見直しの予定	高校生ボランティアへと繋げるための体制づくりを今後も模索しているが、小中学生の内からまちづくりへの参画を促し、地域住民が子どもたちの希望を実現させるサポートをしていくなど、リーダーとしての自覚をより高めるための工夫が必要である。				



## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	23 家庭教育支援事業		担当係	社会教育			
事業内容	<p>「心豊かでたくましい沼田っ子を育てるために」をテーマとし、豊かな人間性を持ち、心身ともにたくましく生きていく子どもたちの育成を図るため、家庭・学校・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、課題解決できるよう子育て講演会を開催する。國學院大学の田中教授を招聘し「生きる力を育む野外教育」をテーマに実施。</p>					事業費 (単位:千円)	
						令和3年度	令和4年度
						0	40
評価	B	<p>P T A連合会の研究大会と家庭教育講座（親学講座含む）との共同開催として実施することにより、参加者が増加して定着しているが、令和4年度はP T A連合会の研究大会は平日の夜間開催となったこともあり、別日程での単独開催とした。</p>					
今後の課題・見直しの予定	<p>本事業は、毎年P T A連合会と共催により開催しており、家庭における教育支援の場として有意義なものとなるよう、今後においても連携して継続していくことが多くの参加者を見込むことができる。家庭における親の役割は重要であることから、P T Aからの希望と変化が激しい現代社会に即した講師選定を行う。</p>						
事業名	24 町民交流フェスタ		担当係	社会教育			
事業内容	<p>町民同士が体験しながら交流し親睦を深めながら、教養や趣味の幅を広げ、生きがいや生涯学習活動の活性化を図ることを目的に、図書館ミニミニフェスタと同時開催により事業実施する。地域おこし協力隊の活動紹介も兼ねた内容とした。 対象は全町民であるが、特に若者や子育て層をメインターゲットとする。</p>					事業費 (単位:千円)	
						令和3年度	令和4年度
						106	189
評価	A	<p>社会教育委員を含む実行委員会を早期に立ち上げ、多様な展示・体験コーナー、販売コーナー、さらに図書館ミニミニフェスタと合わせて開催。子どもから高齢者まで、多くの希望者が参加・体験ができる充実した内容であった。</p>					
今後の課題・見直しの予定	<p>幅広い年齢層の町民の興味や趣味を把握していく。アフターコロナにあっても感染対策を十分に講じていく。人口減少に伴い参加者の減少が見られ、他の事業との統合・連携などの検討が必要な時期に来ているが、「学び」と「交流」を中心として事業を継続する。</p>						

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	25	生きがい講座	担当係	社会教育	
事業内容	新たな趣味の発見や、自らの趣味の熟成度を高め、生活の潤いや生きがいづくりからサークル設立のきっかけとして、生涯学習の機会を提供する講座を開催する。 「ソロキャンプ」「グランピング」「伝筆&エアロビクス」「卓球」の全4回開催し、延べ50名参加。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	60
評価	A	自然学校とも連携し、「ソロキャンプ」「グランピング」を開催できた。「伝筆&エアロビクス」から伝筆サークルが設立された。卓球教室は前年度に引き続きの開催。普段交流する機会の少ない異なる年齢層の町民を結びつけることができた。			
今後の課題・見直しの予定	メインターゲットは比較的時間に余裕がある60歳代、または主婦層となるが、他事業同様に多様化している趣味の中から、興味を持ってもらえる講座を企画し、サークルの設立に繋げていきたい。				
事業名	26	成人式・20歳を祝う会	担当係	社会教育	
事業内容	成人・20歳を迎える若者を祝福・激励し、社会人としての責任と自覚を促す式典を開催する。 町内外の新成人・20歳を招き、関係者、恩師、保護者と共に式典・交流会を実施する。新成人・20歳の門出を祝い、新社会人として「誓い」を式典の中で、一人一人述べてもらうなど、社会人としての自覚と責任を感じられる内容。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				15	298
評価	A	直前のコロナ感染拡大により、急遽時期未定の延期とした前年度分を日程を調整し、年度が明けた5月4日に開催したものと、通常の成人の日に実施したものと2つの事業を実施。通常のは民法改正により成人年齢が18歳となって、初めての会となった。今後もこれまで同様に20歳を祝う会として継続する。			
今後の課題・見直しの予定	アフターコロナであっても感染症対策を行いながらの式典となるため、これまでの内容を簡素化するなど見直す必要がある。遠距離で来町できない方のためにリモートでの参加方法を確立する必要がある。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	27	サークル活性化支援事業	担当係	社会教育	
事業内容	生涯学習活動を目的とした、趣味、教養活動を行う設立間もないサークルに対し、活動活性化の知識習得を支援する。 また、「沼田町芸術文化普及促進事業」として芸術文化活動の普及促進のため、町内の団体自らが芸術文化活動を町民に広げる活動をサポートしている。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	197
評価	B	今年度新規申請となった団体：楽しい伝筆教室/エアロビックス教室 今年度解散となった団体：なし ※活動休止団体：秋桜会、七宝焼同好会 沼田町芸術文化普及促進事業は「愛唱歌を歌おう」と「ファミリーコンサート」の開催申請あり、感染症対策を講じながら実施した。			
今後の課題・見直しの予定	サークル設立を検討している方の情報やニーズを把握し、今後も支援に努める。				
事業名	28	いきいき大学	担当係	社会教育	
事業内容	高齢者が生きがいを持って生活できるよう、多様な学びの場を提供することにより、充実した健康で明るい生活を過ごすことができるような生涯学習を実践する。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	0
評価	B	高齢者が充実した生活を過ごすことができるよう、学びの場を提供することで地域資源、地域貢献活動、防犯意識の向上に繋がる学習を行うことができた。昨年度に引き続き語り部育成事業の一環として取り組み、コロナ禍でも日程を調整しながら見学旅行を含めて全5回開催することができた。日帰り旅行は好評だった。延べ97人(R3年度85人)が出席。			
今後の課題・見直しの予定	語り部の育成の観点からも人材育成・発掘を行ったが、人前で話しをすることには大きな壁があるようだった。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	29	外国文化にふれる会（英語で話そう）	担当係	社会教育	
事業内容	世界の公用語である英語の抵抗感を少なくし、外国文化への興味・理解を深める。当初の主旨は「英語に親しむ機会」としての側面が大きかったが、外国の言語や文化に広く触れ合う機会とすることとした。ALTのDavid先生を招聘し「海外旅行に役立つ英会話とアイルランドの文化」を1回開催した。また、学習サポート事業「明日萌」の1コマとして、「えいごであそぼう」×1回（沼田小学校）			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				0	50
評価	A	生徒児童、保護者からも信頼の厚いALTのDavid先生に協力をしていただき、海外旅行に焦点を当てた英会話と先生の母国であるアイルランドを学ぶ会を開催して、大変好評であった。(参加者12名) 次年度もDavid先生に協力いただき、近隣のALTなどにもお越しいただけるような取り組みとして全町民向けの形態とした。			
今後の課題・見直しの予定	英語のみならず他の外国語や文化にも親しめる機会とする。気軽に参加できるような内容・PRの仕方を検討し継続して実施していく。				
事業名	30	シニアリーダー研修会	担当係	社会教育	
事業内容	次世代を担う北空知に住む中・高校生が一堂に会し交流を図るとともに、地域において青少年の社会参加活動を促進する。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				5	15
評価	A	北空知1市5町の広域事業として実施しており、他市町の同年代との交流は単独での実施では得ることのできない教育効果がある事業であり、次世代の若い力を育成する上でも継続して参加していく必要がある。12月のシニアリーダー研修会は中学生7名が参加。3月のステップアップ研修とリーダー養成講習9名が参加した。			
今後の課題・見直しの予定	毎年、北空知社会教育担当者において内容の検討を行っているが、参加者が減少しており、また事業趣旨に沿った内容の充実が課題となっている。本町の中学生ボランティアともリンクしている事業であることから、今後も継続的に実施していく。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	31	自然体験キャンプ	担当係	社会教育	
事業内容	子どもがキャンプ体験を通じて、親元から離れて、共同で生活する上で得られる生活知識・能力や基本的な生活習慣を身に付ける機会を提供する。また、異学年との交流を深めながら心身の健全な育成を促すため、体験活動のフィールドを使い非認知能力を高め、併せて中高生のリーダー養成を行う。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				117	106
評価	B	宿泊を伴うキャンプを予定していたが、夏季は直前に感染症が拡大したことにより急遽中止とし、2日間の冬季デイキャンプのみ実施した。実施にあたっては感染症対策を講じながら地域おこし協力隊とも連携した。幌新の森での開催となり、野外炊飯やアウトドアプログラム、自然学習等を通して普段できない体験ができた。日帰りデイキャンプのニーズも高く、異学年交流を深めながら多くの児童に参加いただき、ふるさと学として沼田町の自然に直接触れる機会である。(延べ16名参加)。			
今後の課題・見直しの予定	自然学校への委託事業とすることで、アウトドアに対する専門的知見を基にした指導が受けられる。夏季休業中、冬季休業中ともに沼田の自然を体験できる貴重な機会である。小学校低学年からのキャンプ事業の参加者が将来中学生、高校生となった際にリーダーとなることを期待している。今後も、町内幌新地区の自然学校と連携し「ふるさと学」に位置付ける。				
事業名	32	沼田っ子の夢応援事業(合宿通学)	担当係	社会教育	
事業内容	親元から離れて子どもたちが宿泊交流センターから小学校に通学し、共同生活の中で、望ましい生活習慣の定着や衣食住に関する生活能力獲得のきっかけとするとともに家庭学習の定着を図る。共同生活の中で立場や役割を理解し協力し合ってより良く生活することができる能力を高める。また、地域住民との交流を通して人間関係力を高める。加えて、ふるさと学の要素を加え、社会教育委員など地域の方を講師に招き勉強会を行う。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				191	183
評価	A	これまで課題であったスポーツ少年団活動との調整を早くから行い、また対象を小学5年生に限定することで、多くの参加をいただき、参加者、保護者ともに満足度が高い事業であった。地域の方の講話による沼田学と自分や仲間の良いところ探しなどのワークショップを行い自己肯定感を高める取り組みとなった。			
今後の課題・見直しの予定	子どもたちの成長過程における共同生活を通しての役割や生活能力の獲得を目指す本事業は重要な事業であり、定着化させていく。コロナ禍と時間的制約があり、共同で食事をつくることはできないが、コロナが明けたら多少の活動は必要である。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	33 芸術文化鑑賞事業	担当係	社会教育		
事業内容	芸術文化の分野における優れた講師による講演会を実施することで、芸術文化鑑賞の機会を提供し、町民の生涯学習に繋がる意識の高揚を図ることを目的に、隔年で実施する。(スコーレ基金を活用)			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				150	550
評価	B	昨年度は落語会を開催することで契約まで進んでいたが、コロナの感染拡大により急遽の中止となったため、本年度に繰り越した。感染症の状況を考慮しながら調整し、3月に映画観賞会を実施。コロナ禍や時代の変化により大きなスクリーンで映画を見る機会が少なくなっている中で、好評であった。			
今後の課題・見直しの予定	早期から町民のニーズを把握し、聞いてみたいジャンルや開催時期なども考慮し適切に準備を進めていく。				
事業名	34 文化財の保存管理	担当係	社会教育		
事業内容	町指定文化財である十一面薬師観音菩薩像(永徳寺(恵比島第1)保存)及び越中獅子舞獅子頭と獅子舞(無形民俗文化財)の適切な保存を行う。 旧ハイテクインターの施設を『文化財収蔵センター』とし、収蔵設備を整備しつつ、文化財(化石・郷土資料)の移設を進め、文化財の適切な管理を行う。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				-	-
評価	B	町指定文化財は、適切に保存管理されているが、文化財指定者への援助を必要とする部分がある。 文化財収蔵センターは、施設の整備を行い、旧ふるさと資料館に収蔵されている資料の移設を行った。			
今後の課題・見直しの予定	文化財守り隊と連携し、文化財パトロールを行い、保存状態の確認をスケジュール化していく。越中獅子舞は後継者難から活動が停滞しており、今後何らかの援助が必要になる。 文化財収蔵センターに移設した資料を適切に管理するとともに、希望者に見学を可能にできるよう整備を行う必要がある。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	35	クラウド15号蒸気機関車	担当係	社会教育			
事業内容	町指定文化財及びJR北海道指定準鉄道記念物であるクラウド15号蒸気機関車の保存のため、日常管理と適切な点検整備を行う。 また、令和元年度にクラウド15号が日本遺産「炭鉄港」構成文化財に指定されており、産業創出課と連携を図りながら、町内外へPRを行っている。						
						事業費 (単位:千円)	
						令和3年度	令和4年度
		498	532				
評価	B	除雪作業を含め日常管理は㈱シダックス大新東ヒューマンサービスへ委託し、適切に管理されている。					
今後の課題・見直しの予定	貨車牽引機(アント)が古くなり動かなくなる心配も次第に大きくなってきていることから、アントの修繕は早急に対応することとし、アントの状況により展示方法について検討が必要になる。 ※アントは道内には2台しか現存していません、修理部品も少なくなっている。						
事業名	36	本願寺駅通維持管理	担当係	社会教育			
事業内容	道指定文化財である本願寺駅通を、貴重な文化財として永く後世に残すため適切な維持保存を行う。						
						事業費 (単位:千円)	
						令和3年度	令和4年度
		255	234				
評価	B	除雪、防火設備点検等、適切に管理している。					
今後の課題・見直しの予定	建物だけでなく内部の展示についても、文化財収蔵センターの収蔵物を展示することにより、明治の様子再現を強化・見直していく。						

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	37 町民芸術祭	担当係	社会教育	
事業内容	<p>日頃の練習や定期的に行う活動を行う町内の文化団体・サークルの成果を発表する場とし、お互いの作品や発表を見ることで自分たちの活動を振り返り、更なる活動の意欲に繋げることや、広く町民の芸術文化の関心を高めるため実施する。</p> <p>(作品展示会) ゆめっくる：①令和4年10月27日(木)～11月3日(木) ②令和4年11月3日(木)～11月10日(木)</p> <p>(芸能発表) ゆめっくる：令和4年11月3日(木)</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			33	56
評価	A	<p>コロナ禍であっても文化・サークル活動の奨励と発表・交流の場をつくり、町民の参加による芸術祭となるように関係団体、サークル等と協調を図ることができた。芸能発表は町民から要望が大きかった町民会館での開催に戻し、鑑賞人数の制限、換気や消毒など感染対策を充分に行い、多くの観覧者が来場した。</p>		
今後の課題・見直しの予定	<p>昨年同様徹底した感染予防対策によりコロナ禍での開催スタイルのモデルケースとなり、町民会館で開催できたことに感謝する声が非常に多かった。文化団体・サークルの活動者が減少傾向にあるが、来場者は増加して、社会的意義も大きい事業であるため、継続が必要である。</p>			
事業名	38 文化連盟活動助成	担当係	社会教育	
事業内容	<p>町の芸術文化の向上と発展のため、文化団体への活動を支援する。沼田町文化連盟の運営に補助金を交付。</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			86	183
評価	A	<p>同連盟は構成団体と連絡提携し、それぞれが独自事業を開催するよう働きかけるとともに、町民芸術祭においては中心となって運営に携わる等、町の芸術文化向上と発展に大きく貢献し、効果を上げている。</p>		
今後の課題・見直しの予定	<p>会員が徐々に高齢化しており、活動の活性化が図られるよう、新規団体・サークルの設立などの側面的な支援を行っていく。</p>			



## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	39	ぬまたっ子サポーター事業	担当係	社会教育	
事業内容	家庭・学校・地域が連携した体制による自主的な取組として、地域における子どもの安全を見守るパトロール活動の一層の充実を図るため、ぬまたっ子サポーター（通学路等パトロールボランティア）の養成及び活動の推進を図る。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				42	63
評価	B	昨年に引き続き帽子を新調して改めて募集を行い、会員が無理のない範囲で日常的な活動を行っている。いきいき大学との合同開催により研修会を実施することができた。			
今後の課題・見直しの予定	平成31年4月に沼田学園学校運営協議会を発足させ、地域に開かれた学校づくりを実現するために家庭・地域・学校が連携し各種事業を展開しており、標記事業は子どもたちを見守る活動として有意義な事業であることからサポーター登録を呼びかけて事業を継続する。				
事業名	40	社会教育施設の管理運営（ゆめっくる、活性化センター）	担当係	社会教育	
事業内容	町民一人ひとりの生涯学習教育活動を支援し、人間性豊かな地域社会の形成に寄与するための場を提供する。地域住民の主体的な発意と相互協力のもとに、自らの生活文化の向上及び地域の安定的な発展と活性化を図る。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				16,279	19,174
評価	B	生涯学習総合センターは生涯学習活動の拠点施設として、サークルを中心とした町民の芸術文化活動推進と、生涯学習情報等の収集・発信を行っている。図書館は本の貸出業務だけでなく、テーマ展示を通じた情報発信に努めている。活性化センターは地域活動団体の会議や研修、教養・文化サークル、健康に関する活動、また調理実習等の場として活発に活用されている。また、生涯学習総合センター、各活性化センターは非常用発電設備を備えており災害時の避難所としての機能も有している。			
今後の課題・見直しの予定	新型コロナウイルス感染症予防の影響により前年度と同程度の利用者数となった。施設内の経年劣化による設備の故障等も見受けられる為、適宜、修繕等を実施し施設維持に努めたい。また生涯学習総合センターについては建設から20年以上経過しているため、大規模改修について検討を進めていく必要がある。設備の不備や設置要望については、利用者の希望に応えられるよう努力したい。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	41 町民体育祭	担当係	社会体育	
事業内容	多くの町民の参加のもと、体育祭を通じてスポーツをすることの意義を感じ、また、町民の親睦・交流を図る。実施にあたっては、どの組でも優勝が狙える種目内容と得点配分、選手選考の負担の軽減、組内や町民相互の交流を深める為の環境づくりなどに留意して実施する。	事業費 (単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	
		93	699	
評価	A	スポーツ推進委員や行政区体育委員で議論を重ねた内容の大会をとなり、多くの参加を得られた。配点や年齢、人数制限などで改善を望む声も一部あったが、概ね満足してもらえる内容であった。		
今後の課題・見直しの予定	町民が一堂に会し、スポーツの振興と地域コミュニティの醸成からも貴重な機会であり、方向性や内容についてスポーツ推進委員会にて継続協議をしており、実施する方向で検討している。50回記念大会実施にあたっては、より多くの町民に参加してもらえる様な競技内容を検討していく。			
事業名	42 おはようラジオ体操	担当係	社会体育	
事業内容	役場前駐車場を会場に早朝の新鮮な空気の中でラジオ体操を行い、1日の活動の始まりに備えるとともに、健康づくりやその意識を高める。	事業費 (単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	
		3	3	
評価	A	5月1日から10月2日までの雨天を除く140日間延べ5,521名が参加され実施した。毎朝一度、外の空気に触れることが習慣化され、健康づくりや愛好者など仲間づくりに繋がっている。		
今後の課題・見直しの予定	新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの事業実施となるが、運動不足解消に大きな意義がある。体操指導者の後継者探し之急がれる。			

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	43	明日萌・ほたるの里ウォーキング	担当係	社会体育	
事業内容	10.0km、6.0km、3.0kmの3コースを設定し、自然に親しみながら、それぞれの体力に合ったコースを歩き、参加者同士のふれあいと健康づくりを促進し、併せて交通安全の啓発も実施した。例年はほろしん温泉ほたる館とも連携し「紅葉まつり」と同日開催することで温泉の集客にも繋げる。（本年度の紅葉まつりはコロナで見送り）令和4年10月2日（日）87名参加			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				74	137
評価	A	コース付近にてクマの目撃情報があり、ここ数年幌新コースを外して実施している（10.0km、6.0km、3.0km）。町内外からウォーキング愛好者、健康増進のため参加される方も見受けられ、スポーツ振興にも繋げることができた。			
今後の課題・見直しの予定	参加者が減少傾向にあるため、参加者を増やす方策、また、新型コロナウイルス感染症対策が必要であることから内容の変更も検討する。幌新方面は毎年熊の目撃情報があり、以前のコースに戻すことは考えにくい。				
事業名	44	町民パークゴルフ場運営	担当係	社会体育	
事業内容	町民の健康づくりや親睦・交流の場や、競技としてパークゴルフの技術向上を図る場を提供する。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				2,051	1,893
評価	B	建設課と連携し良質で快適なパークゴルフ場を提供することができたが、町外からの利用者が減っている。			
今後の課題・見直しの予定	令和4年度のパークゴルフ場の利用者は前年度より増加したが、高齢化等により年々減少傾向にある。利用促進を図るため、コース管理、料金の設定、大会の実施方法等に関して、パークゴルフ協会等の利用者からの意見を参考に検討し、町外からの利用増を図る。ナイター営業については利用者が減少しているため、実施方法を検討していく。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	45	各種パークゴルフ大会（NHKすずらん記念、町長杯、教育長杯）	担当係	社会体育	
事業内容	3大会ともに、町内及び空知管内のパークゴルフ協会等にも広く周知し、多くの愛好者が参加され親睦と競技交流を図っている。NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」のロケ地を記念してペア大会としての独自性を持ち毎年開催しており、全道から多くのパークゴルフ愛好者が参加され競技交流を深めている。 ・（教育長杯）令和4年6月2日 69名参加 ・（町長杯）令和4年7月7日 89名参加 ・（NHKすずらん記念）令和4年9月1日 128名参加			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				184	289
評価	B	3大会ともに町PG協会の協力を頂き、選手組合わせや大会運営などスムーズに行うことができる。			
今後の課題・見直しの予定	愛好者の減少により年々参加者が減少傾向にあるが、限られた予算で内容の充実を図りながら、今後も広くPRしていくことが必要である。				
事業名	46	体育協会活動助成	担当係	社会体育	
事業内容	本町のスポーツ振興の核となる団体として、その活動費に対して補助金を交付し活動支援をする。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				567	567
評価	A	当該団体は、様々な体育事業を通じ、町民のスポーツの振興及び体力の向上に寄与している。（加盟団体数11団体）			
今後の課題・見直しの予定	沼田町のスポーツ振興の核となる団体であるが、活動を休止している団体が見受けられるので、活動が活性化するよう支援をしていく。部活動の地域移行の案もあるため、各団体の活動状況を押さえる必要がある。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	47 図書館運営	担当係	図書館	
事業内容	<p>図書館の蔵書等の資料を活用し、町民が本に親しみ、知識や情報を収集する場として本や情報の提供を行う。また、図書館の蔵書等を活用した事業を行い、小さな時から本に触れる機会を積極的につくり、各家庭で読書に親しんでもらうため保健部門とも連携した事業を行う。</p> <p>主な事業：絵本作家の原画展、こどもおはなし会、こども工作教室、こども園への読み聞かせ、テーマ展示、絵本の世界展、ハローブック、おとなの工作教室、古本市、こども人形劇</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			5,051	5,317
評価	A	<p>老人介護施設の読み聞かせはコロナ禍のため開催できなかったが、それ以外の事業はコロナ対策をしながら開催することができた。絵本作家の読み聞かせは原画展の開催に変更して行った。まだコロナ禍ではあったが、直木賞作家が全国各地を回るイベントで沼田町に来町してもらうことができ一般向けのイベントを開催することができた。</p> <p>また昨年度から始めた小学校高学年・中学生を対象のマンガアンケートで1位になった新しいマンガを購入し、子どもから大人までマンガを楽しんでもらえ非常に好評だった。</p>		
今後の課題・見直しの予定	<p>コロナ禍以降、変化した生活様式にあわせた形で事業を開催するなど柔軟に対応し図書館に親しんでもらえるよう事業をすすめていく。小中学生の利用のきっかけになるよう、興味関心を持てるよう事業を行う。</p> <p>また、ボランティアとともに図書館の整理・読み聞かせなどの事業をすすめていく。</p>			
事業名	48 図書館フェスティバル	担当係	図書館	
事業内容	<p>町民の本への興味関心を高めるため、読書の楽しさや図書館の機能を幅広く周知しながら事業を行う。また、体験などを通して本を手に取りやすくなるような事業を行い、図書館に来るきっかけづくりになるよう事業を進めていく。</p>		事業費 (単位:千円)	
			令和3年度	令和4年度
			0	0
評価	A	<p>町民交流フェスタと同日開催した。本のポップをつくろう・デザインコンクールの作品展示のほか、フェスタ当日だけ配布する特別工作や図書館クイズ、クリスマスツリーをつくろうなどを行い、たくさんの方に図書館に立ち寄ってもらうことができた。また、こども人形劇も同日開催し、多くの方に観劇してもらうことができた。</p>		
今後の課題・見直しの予定	<p>事業を通じて、図書館に来るきっかけづくり・本に触れるような内容にしていくことが必要である。</p> <p>コロナ禍ということで、昨年度同様に古本市は別日に設定した。昨年度フェスタ当日だけの特別工作が足りなくなってしまったので令和4年度は多めに用意し、工作をもらいに来た幼児・児童全員に渡すことができた。また図書館で行うクイズやクリスマスツリーづくりに参加したついでで本も借りていくという方もいたので、まずは図書館に来るきっかけになるようなイベントを開催していく。</p> <p>今後も内容を検討し、図書館にあまり来ることがない層にも興味を持ってもらえるよう事業をすすめていく。</p>			

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	49	B & G海洋センター運営管理	担当係	体育振興	
事業内容	海洋センター（プール）の運営活用を通じて町民の心身の健全な発達及び体育・スポーツの普及振興を図る。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				7,622	10,050
評価	C	開館期間中のポンプ設備の故障により閉館日（8月31日）前に閉館することとなり、利用数は1,801人と前年（2,297人）より大きく減少することとなった。閉館後はプール利用希望者に対して、北竜町B & G海洋センタープールまでの送迎を行った。			
今後の課題・見直しの予定	設備の管理に関して、耐用年数等を考慮し、早めの設備更新を検討するようにする。 無料で利用できる利点をもっとアピールし、すべての世代で活用してもらえよう事業を展開したい。 開館期間の後半は水温等の影響により、濁りが発生しやすくなるため、こまめな水の入れ替え等、適切な水質管理を心掛ける。				
事業名	50	水泳教室	担当係	体育振興	
事業内容	○対象：4歳児～小学校6年生 ○海洋スポーツ普及の一環として幼児・児童を対象に水泳教室を実施し、水泳を通じて体力・健康づくり並びに水泳技術の向上を図る ○メニュー：（直営）参加料 無料 「アクアリズム」「水なれ教室」「特別レッスン」 （委託）参加料 2,000円 「わんぱく水泳教室」「チャレンジ水泳教室」			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				396	429
評価	A	幼いうちから水泳に親しみ、楽しさを知ってもらうことで、体力・健康づくり並びに水泳技術の向上に寄与している。子どもの上達度に応じて教室を分けて実施しており、20日間に渡って延375人に対し指導を行った。			
今後の課題・見直しの予定	プール利用者が減少することなく、事業実施のタイミングを調整し、より多くの方々に水泳に親しんでいただくことで、体力・健康づくりに繋がれるように支援したい。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	51	スキー場管理運営	担当係	体育振興	
事業内容	スキー場を継続的に運営することで、子どもたちを中心に沼田の特色である雪に親しみ、体力増進を図る場を提供する。 また、老朽化した設備（リフト・ロッジ）の更新を行い、安全性の向上・集客人数（交流人口）の増加を図る。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				124,459	453,210
評価	A	設備の更新・営業時間の延長・学校授業の増加等の影響により、リフト輸送人員(101,972人 前年比+38,901人)、収入(4,207千円 前年比+1,605千円)ともに前年を大きく上回った。 臨時駐車場やWi-Fi環境の整備等の利用者の利便性向上、圧雪車の整備や施設内備品の充実等従業員が安心して働ける環境作りにも努めた。			
今後の課題・見直しの予定	町民、特に子どもたちの冬季に於ける体力増進の場としてだけでなく、スキー場のない近隣自治体に対して冬季スポーツの場を提供できる意義は依然として大きいと考えます。 更新された設備により、幼児や初心者が安心して利用できるスキー場として、また親子で利用しやすいスキー場として継続して運営する方法を検討していく。また、長期間の運営ができるよう、設備のメンテナンスや操作方法に関して索道職員と連携して運営する。				
事業名	52	化石研究事業の推進	担当係	化石館	
事業内容	新たな化石を見つけるための調査を継続的に行う。同時に、外部の研究者と協力しながらこれまで収集した既存化石のクリーニングを進め、研究対象となる化石を提供する。研究成果は沼田町にフィードバックしてもらい、企画展示や常設展に反映していく。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				-	-
評価	B	調査の結果、鯨類の椎体の一部を発見した。 レプリカスタッフはヌマタネズミイルカのレプリカ製作を行っており、各パーツの作製は終了したが、既存の化石のクリーニングが進んでいない状況。			
今後の課題・見直しの予定	1体目ヌマタネズミイルカのレプリカの作製終了し、2体目のヌマタネズミイルカのレプリカ(貸出用)作製作業を進める。 新しい化石や化石の発掘場所の発見を目指して調査を進める。 研究に関する情報を随時館報、町の広報、マスコミ、インターネットなどで発信していく。				

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	53	化石体験館管理運営	担当係	化石館					
事業内容	化石を含む自然史資料を通して、郷土の成り立ちを学ぶ機会を提供するとともに、沼田町が貴重な化石産地であることを広く周知する。幌新地区での立地を生かして、観光振興にも寄与する。								
						事業費 (単位:千円)		令和3年度	令和4年度
								5,491	6,151
評価	A	新型コロナウイルス感染症予防対策をしつつも開館し、ミニ発掘は持ち帰りでの対応としたが、新たな展示台の導入等、展示に力を入れた。 結果として、入館者数(5,741人 前年比+2,633人)は大きく前年より増加した。							
今後の課題・見直しの予定	インターネットやSNS、新聞への情報発信を精力的に行い、新たな入館者の創出を図る。 リピート客獲得のために、質の高い体験メニューや展示方法の検討を行う。								
事業名	54	レプリカ工房	担当係	化石館					
事業内容	沼田町から発見された化石のクリーニング、レプリカ作製、保存、研究を進め、論文発表・特別展示などを通じて町内外に発信するための素材を提供する。 また貸出用である2体目のヌマタネズミイルカのレプリカの作製に着手した。								
						事業費 (単位:千円)		令和3年度	令和4年度
								8,151	10,770
評価	A	常に情報共有に努め化石クリーニング技術の向上を図ってきた。 外部の研究協力者とも連絡を密に取り合い、精度の高い作業を心がけた。							
今後の課題・見直しの予定	令和5年度中の完成に向け、貸出用の2体目のレプリカ作製を行う。 また、既存化石のクリーニング作業を進め、新たな化石研究への協力を継続する。 工房の老朽化の進行と、貴重な資料の保管場所が少なくなってきたため、新施設への移設作業を進める。								



## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	55 宿泊交流センター「夢未来」管理運営	担当係	施設管理	
事業内容	スポーツ又は文化活動等に関する合宿等を受入れ、本町のスポーツ及び文化の振興と地域の活性化を図るとともに、研修・体験学習活動の場を提供する。利用料は道立青年の家の利用料も参考としながら利用しやすいよう小・中学生300円、高校大学生500円、一般1,000円としている。また、厨房を使用し自炊することができる体制としている。	事業費 (単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	
		666	843	
評価	B	令和4年度においても新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、利用可能人数を半分に制限をして受け入れたことにより、前年の利用人数を上回るも、少数の利用となった。		
今後の課題・見直しの予定	施設内も経年劣化による設備の故障等も見受けられる為、適宜、修繕等を実施し施設維持に努めたい。備品においても利用者の要望に応えられるよう努めたい。			
事業名	56 町民球場運営	担当係	施設管理	
事業内容	定期利用団体による利用の調整、町外からの利用を促進し、球場の有効活用に努める。	事業費 (単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	
		-	-	
評価	B	利用者の声を聞き、建設課と連携しながら、より良い環境の中で利用いただけるよう努力した。令和4年度の利用者数は大会数の減少等の影響により減少した。(2,539人 前年比-675人)		
今後の課題・見直しの予定	大会の減少により、利用者が減少している。今後も球場利用のPRや、利用団体の要望を取り入れて改善を行うことで利用者の増加を目指す。			

## 令和4年度 教育行政実施評価書

沼田町教育委員会

事業名	57	社会体育施設の管理運営	担当係	施設管理	
事業内容	体育施設の利便性向上に努めながら、子どもたちの体力向上、及び地域住民の健康増進を図り、楽しんでスポーツに親しむことができる場を提供する。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				17,138	16,599
評価	B	町民体育館は各種スポーツ大会の他、夜間も定期利用団体に利用されている。今年度の利用者は延べ6,570人（前年比+120人）と、前年と同程度の利用者数となった。			
今後の課題・見直しの予定	町民体育館を中心に屋内スポーツをしているが、町民の体力を増進させる観点からも利用促進に努める必要がある。町民体育館は老朽化が進んでおり計画的な修繕など適切な管理や、新たな施設の建設等の検討も必要。				
事業名	58	町民会館の管理運営	担当係	施設管理	
事業内容	町民の福利の増進と文化の向上を図る場として町民会館を提供する。			事業費 (単位:千円)	
				令和3年度	令和4年度
				8,632	7,688
評価	B	町民芸術祭の展示・芸能発表の場として、また文化の向上や町民福利の場として活用し、令和4年度の利用は、4,582名（前年比+1,426名）と増加した。 管理については社会福祉協議会へ委託を行い、適正に行われている。			
今後の課題・見直しの予定	施設の老朽化が目立つが、計画的な改修を進めてきた。今後も効率的な管理運営を行う。 施設の老朽化により、今後、多額な設備修繕も予想されるため、運営方法を大きく見直す必要があることも考えられる。				

# 総合教育計画における チェックポイントの状況

## 令和4年度分 総合教育計画におけるチェックポイントの状況

沼田町教育委員会

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成									
	展開方策	①生きる力を支える「確かな学力」の習得											
(1) チェックポイント		単位	小学校					中学校					
			H30	R元	R2	R3	R4	H30	R元	R2	R3	R4	
①全国学力・学習状況調査、標準学力検査の基礎的知識において全国平均値を上回った児童生徒の割合		%	60.7	56.9	/	/	/	84.2	77.7	/	/	/	
②各種学力調査による「勉強は好きだ」と思う児童生徒の割合生徒の割合		%	92.8	77.8	66.7	92.3	92.3	81.6	58.2	47.3	66.7	66.7	
③教員の交流授業、学習・生活習慣づくり、園・学校行事、幼児児童生徒活動等における幼・小・中が連携した活動数		回	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
④学習サポート事業参加児童生徒の割合（長期休業分）		%	14.84	22.9	28.2	28.2	28.2	7.1	6.3	8.3	9.14	9.14	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成									
	展開方策	②子どもたちの「豊かな心」の育成											
(2) チェックポイント		単位	小学校					中学校					
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①「人の気持ちが分かる、人の役に立つ人間になりたいと思う」児童生徒の割合		%	99	92.8	100	100	100	100.0	100	94	100	100	
②「地域の行事に参加している」児童生徒の割合		%	92.9	92.8	100	87.5	92.3	100.0	100	100	89.4	80	
③「1日に30分以上読書する」児童生徒の割合		%	49.9	49.9	11.1	33.3	38.4	66.1	68.4	61.2	36.8	42.3	
④学校図書の児童生徒1人あたり貸し出し冊数		冊	17.3	12.1	9.3	13.7	12.6	10.0	9.5	10	8.7	1.34	

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成										
	展開方策	③子どもたちの「健やかな体」の育成												
(3)チェックポイント			単位	小学校					中学校					
				H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合			%	72.4	92.8	96.9	100.0	100.0	96.7	94.7	93.5	84.2	93.3	
②フッ化物洗口している幼児児童生徒の割合			%	94.9	95.0	92.5	/	/	/	/	/	/	/	
③学校給食における地場産野菜の導入率（町内生産の加工品を含めた）			%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
④「ほとんど毎日（週3日以上）運動する」児童生徒の割合			%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	/	/	/	/	/	
⑤新体カテストにおいて全国平均値に到達している児童生徒の割合			%	77.8	81.0	47.7	/	/	63.1	89.5	37.3	41.6	48.8	
⑥部活動やスポーツ少年団・スポーツクラブへの加入率			%	61.1	62.5	59.1	54.3	55.3	90.0	90	95.5	82.4	87.5	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成										
	展開方策	④地域に貢献する人づくりの促進												
(4)チェックポイント			単位	小学校					中学校					
				H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合			%	92.9	92.8	88.9	66.7	92.3	58.2	73.7	68	68.4	80	
②進学率や就職率			%	/	/	/	/	/	100	100	100	100	100	
③インターンシップ・体験活動等への参加延べ人数			人	/	/	/	/	/	28	28	16	17	18	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成										
	展開方策	⑤個人のニーズに対応した教育の充実												
(5)チェックポイント			単位	小学校					中学校					
				H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて、支援が必要な子どもに対して「個別支援計画」を作成している割合			%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	①知育・徳育・体育のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の形成													
	展開方策	⑥幼児教育の充実															
(6)チェックポイント		単位	こども園					小学校					中学校				
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3
①こども園の就園率		%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
②小学校とこども園、小学校と中学校の交流活動の回数		回	/	/	/	/	82	82	82	82	82	14	14	14	14	14	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	②地域社会が一体となり、共に育む教育の実践													
	展開方策	⑦学校・家庭・地域で子どもたちを育む取り組みの支援															
(7)チェックポイント		単位	小学校					中学校									
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3					
①学校支援活動の活用日数（ボランティア含む）		日	8	8	8	8	8	6	6	6	4	12					
②社会教育活動等でボランティアや指導者として活動した述べ人数		人	47	47	47	47	47	2	6	6	6	24					
		単位	H29	H30	R元	R2	R3										
③地域の指導者の登録者数		人	0	2	2	2	2										
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	②地域社会が一体となり、共に育む教育の実践													
	展開方策	⑧家庭における教育の支援															
(8)チェックポイント		単位	小学校					中学校									
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3					
①1日あたりの家庭学習時間が（学年×10分）以上になっている児童生徒の割合		%	74.5	74.4	89.4	79.5	80.2	67.6	68.5	56.7	70.3	69.2					
②「夕食をいっしょに食べ、学校での出来事について話をする」児童生徒の割合		%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/					

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	⑨子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進												
(9)チェックポイント			単位	小学校					中学校					
				H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①ぬまたっ子サポーターの巡視活動延べ日数			日	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
②スクールカウンセラーの相談件数			件	33	39	32	43	38	25	20	24	18	48	
③いじめ調査によるいじめ把握数と解決数の割合			%	0	0	0	0	0	0	100	100	100	100	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	⑩社会の変化に対応した学校づくりの推進												
(10)チェックポイント			単位	小学校					中学校					
				H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①教職員1人あたりの校外研修受講回数及び研究会参加回数			回	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	
②学校開放事業の回数(小…スポ少、学童の調理実習含む)			回	200	200	200	180	180	0	0	0	0	0	
総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備										
	展開方策	⑪高度情報化社会に対応した教育・学習活動の推進												
(11)チェックポイント			単位	小学校					中学校					
				H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3	
①情報教育の実施回数			回	18	18	18	18	18	16	16	16	16	16	
②コンピュータを使って指導できる教員の割合			%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
③「携帯電話の使い方について、所持している子のうち約束したことを守っている」児童生徒の割合			%	81.6	/	/	/	76.9	/	/	/	/	94.9	

総合教育計画の位置づけ	基本目標	①未来を築く人づくり	個別目標	③安全、安心で信頼できる豊かで質の高い教育環境の整備								
	展開方策	⑫質の高い教育環境の整備										
(12) チェックポイント		単位	小学校					中学校				
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3
①文部科学省の調査「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」のポイント上昇率 (生徒児童用端末PC数)		台	35	35	35	92	134	38	38	38	95	98
②教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる時間の割合		%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現								
	展開方策	⑬生涯を通して学習し、その成果を生かせる環境づくりの推進										
(13) チェックポイント		単位	H29	H30	R元	R2	R3					
①図書館の利用人数と貸し出し冊数(町民一人あたりの貸し出し冊数)		冊	6	6.2	6.3	6.2	6.9					
②社会教育事業等の参加人数		人	3,837	3,921	3,943	670	889					
③教育委員会が開催する講座等の参加延べ人数		人	100	129	137	0	5					
④社会教育施設の総利用者数		人	15,729	16,674	11,218	7,793	9,125					
総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現								
	展開方策	⑭青少年が健やかに育つ地域づくりの推進										
(14) チェックポイント		単位	小学校					中学校				
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3
①自然体験キャンプやシニアリーダー研修会などへの参加延べ人数		人	133	85	80	20	24	42	64	39	0	30
		単位	H29	H30	R元	R2	R3					
②青年世代団体の活動数(類似含んだ団体数)		団体	1	1	1	1	1					



総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現				
	展開方策	⑮高齢者の生きがいをづくりの推進						
(15)チェックポイント			単位	H29	H30	R元	R2	R3
①いきいき大学参加延べ人数			人	334	133	121	31	85
②異世代交流事業への参加延べ人数 ( )			人	7	88	115	34	0
総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現				
	展開方策	⑯生涯にわたり、スポーツに親しむことのできる環境づくりの推進						
(16)チェックポイント			単位	H29	H30	R元	R2	R3
①スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加延べ人数			人	9,822	8,679	9,174	5,029	6,960
②総合型地域スポーツクラブの会員数と利用者数			人	/	/	/	/	/
③スポーツ施設の利用者延べ人数			人	69,849	63,565	63,157	67,462	79,435
④人材バンクに登録されているスポーツ指導者数			人	2	2	2	2	2
59.3	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現				
	展開方策	⑰芸術文化や地域の歴史に親しむ機会の充実						
(17)チェックポイント			単位	H29	H30	R元	R2	R3
①ゆめっくる定期利用団体数			団体	17	18	19	20	19
②各種団体の発表・活動の場への参加延べ人数			人	534	607	392	165	344
③鑑賞事業の入場者数			人	116	0	80	0	0
④文化施設の利用者延べ人数			人	5,146	5,049	3,034	1,274	3,156
⑤地域教育素材を取り入れた事業への参加延べ人数			人	6,850	7,731	9,936	4,211	3,083

総合教育計画の位置づけ	基本目標	②共に学びあう明るい地域づくり	個別目標	④沼田らしい学ぶ喜びにあふれる生涯学習社会の実現								
	展開方策	⑬広い視野を持ち、地域を愛する心の育成										
(18)チェックポイント		単位	小学校					中学校				
			H29	H30	R元	R2	R3	H29	H30	R元	R2	R3
①姉妹都市交流事業への参加申し込み数		人	/	/	/	/	/	9	9	8	/	6
②小中学校の英語教育の交流授業回数		回	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0